

会 議 録 (概要)

| | |
|-------------------------------|---|
| 会議の名称 | 平成 30 年度 第 3 回佐渡市行政改革推進委員会 |
| 開催日時 | 平成 30 年 11 月 19 日 (月) 13:00~15:40 |
| 場所 | 佐渡市役所会議室棟 第 2 会議室 |
| 会議内容 | <p>1 開会</p> <p>2 市長挨拶</p> <p>3 諮問書の手交</p> <p>4 議事</p> <p>1) 前回までの議題 (第 3 次集中改革プラン) について (報告)</p> <p>2) 公共施設のストック適正化ガイドライン (記載内容案) について</p> <p>3) 個別施設計画 (案) について</p> <p>4) その他</p> <p>・次回、委員会開催日について</p> <p>5 閉会</p> |
| 会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由) | 公開 |
| 出席者 | <p>≪行政改革推進委員≫ (10 名)</p> <p>・会長 西川 祐一 委員</p> <p>・職務代理 佐々木 宏史 委員</p> <p>・行革推進アドバイザー 南島 和久 委員</p> <p>・委員</p> <p>川島敏秀委員、後藤勇典委員、齊藤孝夫委員、大橋幸喜委員、 眞重與四郎委員、齋藤美佐枝委員、光村克己委員</p> <p>・市役所 (4 名)</p> <p>佐渡市長 三浦 基裕</p> <p>事務局 企画財政部 企画課長 岩崎 洋昭</p> <p>企画課行革推進係長 椎 俊介</p> <p>企画課行革推進係主事 菊池 勇司</p> |
| 会議資料 | 別紙のとおり |
| 傍聴人の数 | 1 人 |
| 備考 | |

| 会議の概要（発言の要旨） | |
|--------------|--|
| 発言者 | 議題・発言・結果等 |
| 岩崎課長 | 1 開会 （事務局 岩崎企画課長より開会宣言） |
| 三浦市長 | 2 市長挨拶 （佐渡市長 三浦基裕より開会の挨拶） |
| | 3 諮問 佐渡市公共施設等総合管理計画に基づく個別計画を策定するにあたり、施設類型別の基本方針について意見を求めるため、三浦市長より西川会長へ諮問書を手交。 |
| 西川会長 | 4 議事 1) 前回までの議題（第3次集中改革プラン）について（報告） ・本件については昨年度の協議事項であり既に答申を終えたものである。しかしながら、今年度第1回の委員会において、答申内容を踏まえた各課の取組計画が示された。これについては、答申内容が履行されているのかを確認するため、これまでに無かった取り組みとして理解している。 当委員会では、この各課の取組内容に再度の問いかけを行った訳であるが、この件の着地点については、第2回の委員会においても様々な意見があり、別途、会長・職務代理・事務局で協議することとなった。 10月12日に3者で協議を行った結果、 ① 答申内容が履行されているかどうか、企画課にて取りまとめ、数値の見える部分については年度末に当委員会へ報告する。 ② 参考意見として市長へ提出する。 この2点について確認した。 第2回の委員会においては、南島アドバイザーより「議事録に収録する」との意見もあり、今回の協議においてはこの意見を採用する形とした。 ご意見等あるか。 （委員からの意見） |
| 光村委員 | ・企画課からの報告時期について期限を設定したのか。 |
| 西川会長 | ・年度末時点において把握した数値について、企画課より報告いただく。 |
| 光村委員 | ・年度末に結果を報告するということであるが、その期限を設定すべきである。 |
| 西川会長 | ・取りまとめしだい早急にということである。 |
| 光村委員 | ・まとまらなければ早急でなくともよいということになるのではないかと。例えば平成31年5月末であるとか、平成31年度第1回の委員会であるとか、期限を設定すべきである。 |
| 川島委員 | ・今年度最終の委員会において事務局よりご報告いただけるということではな |
| 西川会長 | いか。 ・プランの実績については、3月末時点における実績となるため、今年度中の報告は不可 |

| | |
|----------------------------------|---|
| <p>川島委員 西川会長 権行革推進係長</p> | <p>能ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ そうであれば、来年度第 1 回の委員会という設定で良いのではないか。 ・ 事務局としての考え方はあるか。 ・ 例年、第 1 回の委員会の開催時期を 7 月としているのは、プランの実績値については 3 月末時点または 4 月 1 日時点における実績を用いており、最終的には決算後でないと確定できないという背景があつてのことである。 <p>今年度のプランの進捗状況については各課に照会することとなるが、今年度およびプランが終了となる H31 年度末における「達成見込み」という表現を用いた照会も必要と考えている。</p> <p>「達成見込み」については、今年度の最終の委員会に間に合わせたいと考える。確定後の実績については来年度の 7 月頃となる。</p> |
| <p>西川会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 確定前の数値が 1 人歩きするという危惧があるため、実績報告については慎重を期すべきと考えた。事務局として考え方があれば、そのように努力をしていただきたい。 <p>2) 公共施設のストック適正化ガイドライン（記載内容案）について</p> <p>3) 個別施設計画（案）について</p> |
| <p>権行革推進係長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回委員会において【資料 No.2-1】「公共施設のストック適正化ガイドライン（記載内容案）」についてお示しさせていただき、委員の皆様にはお目通しのうえ、ご意見等あれば質問シートにてお送りいただきたい旨説明させていただいた。この件について、質問シートに沿って回答する。 <p>（「第 2 回行政改革推進委員会の内容に対する質問・意見シート」に沿って説明）</p> |
| <p>西川会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 補足する。第 2 回委員会で事務局より提示されたガイドラインについては、本日の資料「個別計画（案）」に概ね包含されていることから、事務局には「個別計画（案）」についての説明を求める。 <p>また、本日の市長からの諮問内容については「施設類型における管理の基本的な考え方」である。平成 24 年度に「公共施設の見直し手順書」の策定に関わった際にも、基本的な考え方、見直しの視点について議論したが、当時の委員からは個別施設の方向性について議論する場面が見られた。当委員会については個別施設の方向性について議論するのではなく、市長からの諮問事項について意見を述べることに徹底したい。</p> |
| <p>権行革推進係長</p> | <p>（「佐渡市公共施設等個別計画（案）」第 2 編について説明）</p> <p>（委員からの意見）</p> |
| <p>後藤委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 計画期間について、個人的には最低でも 30 年スパンの計画としていただきたいと考える。何故なら、佐渡市公共施設等総合管理計画に示されているインフラの更新スパンが 2 |

| | |
|----------------|---|
| | <p>～30年であり、こうした更新周期を踏まえ、中長期的な視点に立つ必要があることを市民に説明しないと、理解に偏りが生じ、個別の切り抜きの情報となってしまう恐れがあるからである。この点については強く意見したい。</p> <p>また、アンケートについてはいつ配布されるのか。その中で個別計画をどのように進めるのかを説明願いたい。</p> <p>先ほど、諮問事項として「施設類型における管理の基本的な考え方」とされたが、アンケートの実施にあたっては、最も重要なことは佐渡市の現状を市民が知ることであると考え。当然、その情報の示し方についても重要で、個別の案件も大切だが、総論についてはより大切なことと思う。この点も踏まえてアンケートの実施時期について教えていただきたい。</p> |
| <p>南島委員</p> | <p>・アンケートについては既に実施していなければならない時期である。可能な限り早く実施したいとしか申し上げられない。12月には配布を終えたいと考えている。</p> <p>ご指摘いただいた総論の部分について、また、情報の示し方について、前回お示ししたアンケート（案）では施設類型ごとに踏み込んだ内容の設問を考えたが、もう少し大きな総論部分について問いかけたいと考えている。</p> <p>・2点質問したい。</p> <p>計画期間については、恐らくは「人口減少を踏まえて30%の削減をしなければならない」部分が軸となっているので、「26年」という数字になっているのかと思う。</p> <p>他方、後藤委員の意見にもあったが、「建物」を軸とする考え方もあると思う。どちらが良いかについては一考に値する。その際、住民の視点に立った時に「人口が減るから30%削減しなければならない」という説明の方が受け入れやすいのか、「この地域では最低限これだけの機能（建物）は維持しよう」という説明の方が受け入れやすいのか。そういう部分にも思いを馳せていただければと思う。</p> <p>26年間の計画について。行政内部の計画の説明としてはよいが、住民に届くのかという疑問がある。この計画をこのまま示してしまうと、「お金がないから削るらしいよ」という話になってしまうのではないかと。それだと住民の理解も得られなくなってしまうのではないかと。</p> <p>施設の合理化の話は、平成の大合併で佐渡市が大規模合併を行い、施設を適正数にコントロールしていかなければならないという行政改革の論理からきている。重要なのは「住民に受け入れていただく」ことであり、場合によっては「ご協力いただく」ということをかなり重視しなければならない。住民の生活が変わっていくという点において、相当に重視しなければいけないということを、忘れがちとなるのでここで強調しておきたい。</p> |
| <p>権行革推進係長</p> | <p>もう1つの質問は、「管理に関する基本的な考え方について意見を示す」ということについては、要は2次評価（政策評価）のところを我々はしっかり議論すれば良いということか。それとも全体的にということか。</p> <p>・総合管理計画に打ち出している目標については、棟延床面積を30%削減ということである。計画書には地域別の棟延床面積の比較も示されているが、県内自治体における類型施設数の割合等についても参考にしたいと考えている。そういった比較における数値</p> |

| | |
|---------|--|
| | <p>的な資料についても整理し、どのような形で住民にお示しするのか、今回のアンケートも含め、情報の出し方については考えたい。</p> <p>計画期間については南島委員ご指摘のとおり、上位計画である総合管理計画の30年に基づくものである。国からも通知されているが、計画の長期化を図ることで精度を高めていきたいと考えており、もとより30年で終わる計画とは考えていない。総合管理計画についても5年毎に見直すこととされており、都度更新が必要な計画になることと思う。</p> <p>今回諮問した内容については、総合管理計画において施設類型別に基本的な考え方が示されており、この考え方についてご意見をいただきたいということである。1次評価については機械的なふり分けであったが、2次評価については、この基本的な考え方に沿う必要があるため、その部分についてご意見をいただきたい。</p> |
| 川島委員 | <p>・計画期間については2045年までの26年間ということであるが、個別計画(案)P.2に、公共施設の整備について「2020年代前半および2040年代前半に改修更新に係る費用が～」とのくだりがある。こちらについては、文言のみの説明でなく、総合管理計画P.11の図10を挿入すべきと考える。更新周期について視覚的にも理解しやすくなるのではないかという提案である。</p> |
| 光村委員 | <p>・第2回委員会でお示しされた「資料No.2-1」と、今回の個別計画(案)を比較すると、目次の不一致や記載事項の省略がなされている。</p> <p>後藤委員の意見とも一致すると思うが、佐渡市の現状について市民の理解を得ないとこの計画は受け入れられないと思う。「改良」「改革」「変革」という言葉を使わせてもらえば、これは「変革」であると思う。ところが、市民は「改良」「改革」という認識であると思う。この認識を持ってもらうためには「佐渡市の現状」が1ページ程度では市民は理解できない。個別計画に踏み込んでいくことも許されないと思う。やはり、佐渡市の現状についての認識を深めてもらい、「変革」が必要であるという理解をしてもらったうえで、計画の必要性を認識してもらうというストーリーが必要だ。第1編において佐渡市の現状を正確に伝えることである。この内容では全然伝わらないと考える。</p> |
| 大橋委員 | <p>・光村委員の意見については、上位計画の総合管理計画に記載があるものであるから、重複を避けたものと思う。市民に周知する部分については概要版のようなものでお知らせすることが良いと思う。現状については総合管理計画に記載がある。</p> |
| 光村委員 | <p>・おっしゃるとおりかも知れないが、お示しされたガイドラインにおいてP.5～7の記載内容が1ページに省略されている。これでは市民に理解されない。反対されると思う。</p> |
| 権行革推進係長 | <p>・大橋委員のおっしゃるとおり、基本的な部分については総合管理計画においてお示ししている。また、川島委員からもご意見いただいたが、図表も用いながらわかりやすいように個別計画の中でも現状については伝えていきたいと思う。</p> <p>本日お配りした計画(案)については、まだ粗々のもので、目次との不一致等についてはたいへん失礼をした。お詫び申し上げます。</p> |
| 西川会長 | <p>・総合管理計画に詳細は記載されているが、では、それを市民が読むかという別問題である。要は表現の問題で、全体を分かりやすく示すということで、例えば、川島委員の意見のようにグラフを用いることも有効であるし、「1人あたりの延床面積8.5㎡」という分かりづらい表現についても改めるべきと思う。そういう部分を含め、まとめ方に</p> |

| | |
|-----------------------------|---|
| <p>権行革推進委員会 佐々木職務代理</p> | <p>ついて、市民の方にどうやったら分かりやすいかを真剣に考えようということである。これら意見を真摯に受け止め、努力いただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いただいたご意見はごもっともである。自分が逆の立場であれば理解できるのか不明である。表現方法も含め伝え方は工夫をしたい。 ・市民の立場とすると、正直、細かい資料は読めないと考える。概要でお伝えする部分と、詳細については別冊資料や Web を活用するという整理の仕方もあるかと思う。 |
| <p>西川会長</p> | <p>まずは、誰が見ても「なぜ削減が必要なのか」を理解できる資料が必要である。単純に「財源不足」ということでなく「こういう理由によるものだ」という図付きの絵本のようなものでも構わない。概要で示し、細かいところは抜粋として別に作成していくのが良いのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の皆様の見意見を総合的に踏まえると、とにかく詳しく見る方にはそれなりのものでも見てもらうが、最初に市民に示す場合には、膨大な資料を示すのではなく、シンプルにビジュアルで示すという訴求の仕方を提案したい。 |
| <p>南島委員</p> | <p>さいたま市の長寿命化計画については1ペーパーで端的に書いてあり分かりやすい。市民アンケートも入っている。佐渡市の現状については、新市建設計画の市民説明会の開催もあり、浸透しつつあると思う。これに加え、なおかつ丁寧な仕事をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教えていただきたいのは、施設の評価について、個別計画(案) P.8において1次評価の5つの視点が示されており、続いて2次評価について示されている点である。難しいのは、1次評価における①「行政の関与の必要性」についてであり、真面目に考えれば考えるほど難しい。これはどの程度のレベル(深さ)の問いかけなのか。 |
| <p>権行革推進係長</p> | <p>また P.9⑤においても改めて「改廃すべきものは改廃」と判定することとなっている。さらに P.9 表Ⅱにおいてニーズを把握することとされており、やはり必要性に関して問いかけている。</p> <p>究極的には、必要性の判定については、政治判断を含めて議論する必要がある。そのための情報を何系統かに分けて問いかけているのだと思う。一見、どれも同じ問いかけに感じるが、各々の果たす役割分担があるはずである。その点についてはどのようにしているのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P.8①については、これまでの公共施設の見直しの指針である「公共施設の見直し手順書」に準じている。 ・ P.9⑤については、「耐震性」「安全性」「経済性」それぞれの評価結果に従って決定する機械的なものである。 |
| <p>南島委員 権行革推進委員会</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ P.8①については担当の主観でよいのか。 ・ これまで佐渡市では公共施設の方針について何度か検討しており、直近では H27 年度に方針について調査を行っている。この調査において方針が「譲渡」となっているものについて、その方針を引き継ぐための受け皿という意味合いがある。 |
| <p>南島委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 要するに、既に方針の定まっているものについてはここで外し、それ以上の余計な議論はしないという理解で良いか。 |
| <p>権行革推進委員会</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ おっしゃるとおりである。 |
| <p>権行革推進委員会</p> | <p>2次評価におけるニーズについては、施設の利用実態、利用人数、満足度等に係るニ</p> |

| | |
|----------|---|
| 南島委員 | <p>ーズとなってくる。施設所管課において現場の判断等も含めて考えていくもので、こちらは機械的なものではない。総合管理計画において施設類型ごとに管理の基本的な考え方を示しているが、どのような指標を用いてニーズを把握するかについては所管課にも考えてもらわなければならないと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今申し上げた3つのニーズにかかる評価が最も大変かと思う。 <p>譲渡が決まっている施設は譲渡でよい。その上で、それ以外の施設も、削減対象の候補として積み上げ、30%の削減目標にたどり着かなくてはならない。もう少し言えば、維持や改善、場合によっては新設される施設があることも踏まえると、30%以上の削減をしていかなければならない。</p> <p>この時、どこに負荷がかかるかという、2次評価に負荷がかかる。これで先延ばしをしてしまうと、政治判断で処分するという話になってしまう。この縦軸を最も安定させなければならない。どこかにしわ寄せがきつく生じないような形を取らなければならないと思う。そこを整えておかないと目標の30%削減には繋がらないと思っている。</p> |
| 権行革推進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・おっしゃるとおりかと思う。30%の削減目標はあるが、どの施設を改廃して目標にたどり着くかということも明確になっていない段階である。今回、2次評価において一定の判断は政策的な優先度ということで判定していただくことになるが、耐用年数の到来がはるか先の施設も含め、現段階では方針を決められない施設は必ず生じる。 <p>仮に、新市建設計画（案）で解体方針の施設がすべて無くなったとすれば、残った施設の経済性やニーズ、利用実態も当然変わってくる。従って、今回一度にすべての評価を実施することは極めて難しいと考えている。施設によっては「耐用年数が到来となる5年前から検討を開始する」といった選択肢も必要と思う。</p> |
| 西川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・前回は触れたと思うが、これだけの膨大なデータ量を扱い、また機械的な判断も行っていくとなると、何らかのシステムを導入する必要があるのではないか。また、この問題を権行革推進係のみで支えていくことは不可能と考える。このあたりの考え方をお聞きしたいことが1点。 <p>もう1点、平成18年から平成23年までに270施設を見直し、5億円の経費節減効果を上げたとの分析がなされているが、それ以降の、そういった分析がなされているのかをお聞きしたい。</p> <p>何故かという「前段は機械的な判断であっても、最後は政治的な判断となる」と言いつつ、政治的な判断というものは非常に曖昧である。当時は民間資本を活用するという考え方もあったと思うが、今回はドライでなくウェットに富んだ判断が入ってくるのか。そのあたりの基本的な考え方を知りたい。</p> |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・見直された施設数や削減効果については「公共施設の見直し手順書」の冒頭に記載されている内容である。当時は物件費を積み上げ、削減効果として分析していたかと思うが、以降、同様の分析は行っていない。総合管理計画が策定されて以降2年間の施設の増減については、個人的に調べたところ、2年間で約1万㎡削減され、約9,000㎡増加している。 |
| 岩崎課長 | <ul style="list-style-type: none"> ・実施体制については、組織改編において昨年度より企画課に統合し、従前の行政改革課から企画課の中の1つの係という位置づけとなっている。人員については、行政組織 |

| | |
|---------|---|
| | <p>に関する業務について総務課へ移管したということで昨年度より 1 名減となっており、係長・係員の 2 名体制となっている。そういった意味で、この計画をまとめるについては、正直、私も所管の課長としては苦しいところである。そうした中、まとめについては企画課が担うという前提は変わらないが、施設を所管する各課の協力は欠かせないということで、より全庁的な取組体制というものを徹底したいと考えている。それ以上の組織ということとなると、人事担当部署とのヒアリング等で訴えていきたいと考えているが、現状、今年度についてはこの体制で進めるしかないと思っている。</p> |
| 佐々木職務代理 | <ul style="list-style-type: none"> ・30%削減の内容について、経済性なのか施設数なのか市民はわからないのではないかと。経済性で削減ということであれば、コストの大きな施設を 30%削減することとなり、そうでなければ、施設の数をたくさん廃止して 30%減らすこともできる。何故こういったことを言ったかという、先ほどの評価の判定プログラムを作る際、プログラマーが条件を把握していないと作れない。この 30%という目標値の中に、経済性の明確な基準が無いのなら作った方が良く考えた。 |
| 南島委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設は床面積の 30%削減である。これが運営管理費ベースではどの程度の圧縮になるのかということを出しよと考えているのか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・30%削減については、指標を棟延床面積とした目標にすぎない。1 次評価の判定においては 30%削減という数値目標の考え方は加味されていない。単純にふるいにかけて結果、「改廃」という方向性が打ち出された施設をカウントし、結果何%になったという考え方でしかない。 <p>ただ、1 次評価後の考え方については、方向性を「維持」とした施設については、「財源の確保」「維持管理の効率化」という個別対応策についても考えていくものとしている。現時点においては、削減対象とする施設について明確な考えはない。強いて挙げれば、産業系施設については総合管理計画においても「原則更新はしない」という方針が掲げられており、まったくの削減対象施設であるという考え方もできる。逆に、消防施設については、維持保全点検のうえ長寿命化という方針が打ち出されており、縮減はできないと考える。</p> |
| 佐々木職務代理 | <ul style="list-style-type: none"> ・そういう部分を除き、残り何%削減すればよいかを考えるということか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 |
| 西川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・各課で計画に基づいて縮減を進めている施設については 30%の対象外なのか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・そうではない。それら施設も含めての 30%削減である。 |
| 佐々木職務代理 | <ul style="list-style-type: none"> ・例えば、確実に削減できることが決まっている施設が 5%あるのであれば、あと 25%削減するということが良いか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。既に現行の将来ビジョンに基づく集中改革プランによって廃止の方針が決定しているものについては、その方針に従うという考え方である。 |
| 齊藤委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・30%削減について、当初は経費の削減と考えていた。人口が減少して経営状態が厳しくなるから 30%縮減するとなると、経費縮減という考え方がなく、棟延床面積ばかり 30%減少するという考え方はおかしいのではないかと。仮に面積を 30%削減しても 5%しか経費削減とならなかった場合、何のための削減かという思いである。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合管理計画 P.24 でお示ししているが、ハコモノとインフラをすべて維持管理したと |

| | |
|--|--|
| | <p>すると、今後 30 年間で 4,020 億円要するという試算結果に基づきこの計画を進めている。この試算については、施設の棟延床面積に施設別の大規模改修費用単価、建替え費用単価等に乗じて算出している。当然、棟延床面積が削減されれば、そこに乗じて算出される費用も削減されるという考え方である。</p> |
| <p>齊藤委員 権行革推進係長 齊藤委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4,020 億円に 0.3 掛けした分だけ費用が下がるということか。単純に考えれば。 ・ 単純に考えればそういうことである。 ・ そうであれば、「単純に考えて約 1,200 億円削減できる」という書き方も必要なのではないか。 |
| <p>南島委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 要は、仮の目安として棟延床面積を置いているということである。結局、コストを削減しなければならぬことには違いない。本委員会の議論として引き受けないといけないうと思うが、他にも論点はある。 <p>例えば、市民の居住割合に関係なく万遍無く施設を減らしてしまうと、後々「この地区にこの施設が必要である」という話になりかねない。集約化させる方向でまちづくりを進めるということはこの計画とは別の議論だが、施設を新設する時にはそういう考え方も採用してもらわなければならない。最終的に、佐渡市全体の施設運営のコストが下がっていくところが目標なので、その考え方はしっかりと原則論として示しながら、「政策判断もその原則に従ってしてください」という考え方をまとめることになる。従って、棟延床面積は原則論ということによいか。</p> |
| <p>権行革推進係長 齋藤委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ よい。 ・ まだ先の段階のことと思うが、個別計画を考えるにあたってわからないので教えてほしい。例えば A という施設を廃止し、払下げもできずに解体することとなったとして、解体費用については行政の負担となるが、解体後に更地となった時、年に何度も草刈りが必要となった場合、廃止後の維持管理費も発生するのか。 |
| <p>権行革推進係長 西川会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 跡地利用が無ければそのような費用は発生する。ただし、そこまでは見込んでいない。 ・ そろそろ次へ移りたいと思うが、その前に 10 分ほど休憩する。 <p>(10 分休憩)</p> |
| <p>西川会長 権行革推進係長 西川会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 再開する。P.17「第 1 章 公園等」以降について事務局より説明を求める。 (「個別計画 (案)」に沿って説明) ・ 説明にあったとおり、各施設類型に示してある「管理に関する基本的な考え方」について、今年度当委員会より意見を述べることとなる。今の事務局からの質問について、何か意見等あるか。 <p>(委員からの意見)</p> |
| <p>川島委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ P.17 の表中の「1 次評価 (施設評価)」について、「良」「劣」と示してあるが、これは一体何点くらいなのか。「良」「劣」の表記のみでは勝手に判定されたと思われかねない。判定基準となった数値も入れた方が分かりやすいと感じた。 |
| <p>権行革推進係長</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 先ほど来議論となっている「分かりやすさ」という部分になろうかと思う。別途整備 |

| | |
|---------|---|
| | <p>している「施設カルテ」には点数も表示させている。そちらを資料編として用意し「個別の点数については施設カルテを参照してくれ」と言うのか、それともこの表の中に点数まで表示するのかについては検討させていただきたい。</p> |
| 川島委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人的には点数を表示した方が信頼性が高いと考えた。検討いただきたい。 |
| 佐々木委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・ぱっと見た時に優劣のみ表示があるのは分かりやすい。表の上部に判定の基準を示してはどうか。採点に基づく判定であるということをお伝えできるのではないか。 |
| 光村委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・目次には「資料編」とあるが、これは何を資料とするのか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在想定しているのは、P.18 の表中に記載されている「実施年度」「対策費用」について、時系列に行程表にしたもの、また、年次毎の対策費用の積み上げのグラフである。 |
| 大橋委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・各章の(1)(2)の記載については総合管理計画より引用しているのであれば不要と考える。(案)の段階で仮に記載しているのか。それとも、この内容で進めたいのか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・個人的にはこの内容で進めたいと考えている。 |
| 大橋委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合管理計画に全く同じ内容が記載されているのであれば不要と思う。記載するとすれば、評価結果を文章としてある程度最初の部分に書くスタイルがよいと思う。 <p>もう1点、先ほどの点数については資料に乗せるということか。</p> |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・点数については、別途施設カルテを公表する形としたい。 |
| 大橋委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料編とは別ということか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料編に掲載すると800ページほどになり、計画書全体として1,000ページ程度のものになってしまう。紙媒体の計画書として作成するのかについては別の話であるが、そのあたりも含めて考えているところである。 |
| 大橋委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・媒体云々でなく、別冊で資料編としてまとめるべきである。その中には、計画への基本記載事項である避難所の機能であるとか、コストについては掲載されるのか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・掲載する。 |
| 大橋委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用率やコストもか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。 |
| 光村委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 公園等」については(3)(4)の項目があるが、第2章以降は(1)(2)しか掲載されないのか。(案)であるから第2章以降は(3)(4)の掲載がないのか。最終的には全章において(3)(4)および10施設程度の例示が掲載されるのか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・(3)(4)については全章において掲載する。今回お示しした(案)では「第1章 公園等」においても10施設程度しか表示していないが、計画本体には全施設を掲載したい。 |
| 光村委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・794施設すべてか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・すべてである。 |
| 光村委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・すべての施設を掲載するということは、第1~2章だけで20~30ページとなるのか。 |
| 西川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・すべての施設の評価結果、個別計画について掲載するということか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。(案)においては、1次評価と2次評価を分けて掲載しているが、例えば両方をまとめるということも考えている。施設一覧については総合管理計画にも掲載されているが、さらに詳細な評価結果等が追加されるというイメージである。 |
| 西川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・個別の全計画については紙媒体で作成する必要はなく、Webで公開する形で良いのではないか。 |

| | |
|---------|---|
| 佐々木職務代理 | ・見たい人が見られるように情報を整理する必要はあると思う。それをすべて計画書に掲載する必要はないと思う。詳細情報は参照箇所に誘導するとか、巻末資料には簡単に書いたものを掲載するといった形でよいのではないか。知りたい人には必要な情報だが、そういう人は情報の置場さえ示せばそこから拾ってくる。 |
| 光村委員 | ・すべてを掲載すると非常に見づらいものになると思う。必要な情報については Web に掲載し、計画本体にはアドレスを示すべきではないか。Web 環境が無い人の問題はあるが、コンパクトにしないと市民は読まない。かといって、個別方針について他の地区との比較や、議論は必ず発生する訳で、そこは市民の理解が必要である。 個別方針が「継続」「改善」であればよい。しかし「改廃」となれば、施設利用者にとっては大問題である。そこを市民が理解できるかどうかである。 |
| 西川会長 | ・新市建設計画の市民説明会の状況を聞いていると、市民は理解できないのではないかと思う。ただし、情報は公開しなければならない。Web で公開することと、Web で見られない人についてはお問い合わせをいただき、都度対応するといった方法は考える必要がある。 |
| 齋藤委員 | ・閲覧場所を設置してはどうか。 |
| 椎行革推進係長 | ・事務局として考えているのは、施設そのものは 794 施設あるが、現実的に「何年度に、どれだけの費用で、どのような対応策をとる」ということについて説明できる施設が果たしてどの程度あるのかと感じている。 今回計画を作ったからと言って来年度廃止するというようなことは非常に乱暴な話であり、例えば「向こう 5 年間はいきなり廃止しない」というような仕組みづくりについても考慮する必要があると思う。それを踏まえ、本当に方針が確定した施設のみを掲載していくということも 1 つの方法と思う。 |
| 西川会長 | ・今回の委員メンバーについては、前回から継続している方も多いが、例えば図書館やスキー場についても集中改革プランのメニューとして検討した経緯がある。その方針については割り切って進める必要があると考えるが、どのような形であれ、情報については開示が必要である。ただし、それは紙ベースで無駄なことをするのではなく、問い合わせをいただいた中で回答できる範囲を回答するとうような考え方はいかがか。 |
| 佐々木職務代理 | ・正直、薄くて見やすいということは非常に大事であり、巻末資料として分厚いものであればとも見れない。詳細情報については Web に、または、閲覧場所として各支所・SC を設定する等の方法があれば良いのではないか。 |
| 大橋委員 | ・総合管理計画を見ても、施設一覧で 20 数ページある。評価結果についてはすべての施設を掲載しても 800 ページになることはなく、掲載すべきと考える。詳細の施設カルテについては 800 ページになるのかは知らないがそれは Web に掲載し、個別計画についてはすべての施設を掲載すべきである。 |
| 川島委員 | ・今年度の目標としては 1 次評価までとしていたはずである。今論じているのはまだ先の段階の話であって、機械的な 1 次評価の結果については、どのような評価となったかについては、我々委員にとっては必要な資料である。一方、一般の市民にまでは 1 次評価結果を出すべきではないと考えている。 もう 1 点、市議会議員が山口県周南市へ視察に行っている。周南市は、1 度行政が案を |

| | |
|----------------|---|
| <p>権行革推進係長</p> | <p>提示し、議会で否決された。何故なら市民の声を聞いていないからである。そして1年かけて案を作り直し、市民に説明をして歩き、その後の議会で可決された経緯がある。したがって、1次評価の結果については我々が知れば良いのであって、一般に出す必要はない。むしろ、それを元に2次評価の部分でもっと絞りこんだ段階で市民に示すべきではないかと思う。</p> |
| <p>南島委員</p> | <p>・大橋委員の意見について、1次評価結果をすべて掲載すると7~80ページ。2次評価結果まで加えると少なくともその倍以上になると思われる。載せ方の問題もあるが、個別施設計画とする以上はすべての施設・結果について掲載すべきと考えている。しかし、内容については非常に過激であるため私の一存で判断できるものではない。部長会議、策定本部を含め、理事者の意向を含めて判断したい。</p> <p>・26年間の長期計画において30%削減していかなければならない。1~2次評価で1度整理し、さらに深掘りして議論しなければならないことになってくると思う。同じ基準で機械的に判定すればするほど結論は似たような形にしかならない。</p> <p>最初はこの形で良いと思う。しかし、これは今年から再来年までくらいの話であって、30年間の管理に耐えられるような話にはなっていない。</p> <p>30年の中で、時系列で見ていったときに今回の評価をどのように位置づけるのかという整理はつけて、ご説明していただいた方が良いかなと思う。</p> <p>もう1つ。現在は施設類型別に区切っている。ところが佐渡市の中では住宅密集地とそうでない地域があり、10市町村それぞれの凸凹がある。</p> <p>非常に重要なのは各地域における公平感であり、そのために客観的な仕分けをしようとしている点である。一部の地域に過剰に負担を強いるようなことになっては元も子もない。そのバランスを図る措置を別途講じなければならない。非常に大事なことと思う。</p> <p>今用意があればお答えいただきたい。無ければ宿題としていただきたい。</p> |
| <p>権行革推進係長</p> | <p>・2つ合せてお答えしたい。</p> <p>今具体的に何か用意があるかと言われれば、用意していない。しかし、1回目の委員会でも後藤委員からの意見にあったと思うが、どこにどういった施設が配置されるのかビジュアル的に示す必要があるのではないかということである。</p> <p>今回、1次評価においては施設の優劣のみの評価で判断を下しているため、地域バランス等は一切加味されていない。私が個人的に感じていることであるが、まずは1次評価の結果について施設類型別に佐渡の地図に落とし込む。それによって、近隣の類似施設の有無も見えてくるので、1つの整理が出来る。この類型別の分布の整理を重ね合わせることで佐渡市の施設全体の分布が見えてくる。この整理をどこかのタイミングで実施し地域性に配慮する。例えば佐和田には大きな体育館があるが金井には体育館がない。それでは別の施設、例えば図書館を整備する。そういった整理は今後必要と考えている。</p> |
| <p>南島委員</p> | <p>・その際に、その作業をすべて行革担当が負うことは違うのではないか。例えば、介護については高齢化率が非常に重要な指標となってくる。人口密集・エリア別云々という話ではなく、人口密集度と高齢化率を掛け合わせた数字が欲しい訳であって、それは担当課が情報を持っているので、担当課がその原案完成作業をし、あとで行革担当が集約するなどの整理も必要である。</p> |

| | |
|----------|--|
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・その点については、まったくもっておっしゃるとおりと思う。当然、そういった情報については担当課が把握していると思うので、総合管理計画でも示すフォローアップ体制も含めて、組織については真剣に佐渡市として考えていく必要があると思う。 |
| 西川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・今、事務局からも色々説明があったが、わかりにくい部分も多々ある。今回の委員会の中で発言を控えている方にも意見を聞きたいと思う。そこからまた質問等あれば受けたいと思う。 |
| 齋藤委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・当委員会に諮る以前に、例えば住宅であれば建設課において、入居者も含め、「誰がどう見ても壊すしかない」という施設はたくさんあるはずである。それにも関わらず、これだけの一覧表を作成し議論しようとしている。 議論する必要性すらないものについては担当課で整理を進め、それ以外の例えば社会教育施設について諮問していただくような形で、重要な案件を挙げていただきたい。 一覧を見ていて、議論の余地もない施設はたくさんあると思う。 |
| 西川会長 | <ul style="list-style-type: none"> ・我々が個々の施設について改廃をここで決めるという訳ではないので、誤解のないようにしていただきたい。「この住宅は入居者がいないから不要である」という話を我々がこの委員会で判断して意見を述べるのではない。おっしゃることは理解するが、そういったことも頭に置きながら基本的な考え方について整理を進めたい。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・関連で、例えば住宅については「市営住宅等長寿命化計画」というものがあり、そちらに基づいて整理を進めているので、策定済みの計画がある施設については、施設所管課において整理を進めていただきたい。 個別計画の策定に係る経緯については、昨年度、各施設担当課を集めた庁内会議を開催した結果、各担当課において「所管課では策定できない」という考え方が一斉に示されたために企画課がグリップすることとなったものである。 |
| 齋藤委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・承知した。 |
| 後藤委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査については非常に気になっているところである。 |
| 佐々木職務代理 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容について、我々は事前に知ることはできるのか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート（案）については、既に資料として委員会にお示しさせていただき、非常にたくさんの意見をいただいた中で、第2回の委員会において修正（案）として提示させていただいた。その際においても、また多くのご意見等いただき、事務局としても出来る限り早期に実施したいと考えているので、皆様よりいただいたご意見等を踏まえた形として実施をしたと報告したい気持ちが半分ある。 |
| 佐々木職務代理 | <ul style="list-style-type: none"> ・配布したものはこの形であるという報告はいただけるのか。 |
| 権行革推進係長 | <ul style="list-style-type: none"> ・当然報告する。（案）としてお示しし、内容についてこれ以上協議することは考えていない。 |
| 後藤委員 | <ul style="list-style-type: none"> ・事後報告ではなく、配布前に示していただきたい。そうすれば一言アドバイスではないが加えられる可能性がある。同封の資料についても、どのような内容とするのか非常に気がかりである。ここで躓いてしまうと市民の理解も全く得られないと思う。 |
| 佐々木職務代理 | <ul style="list-style-type: none"> ・そういう方は（案）を見て、逆に提案として事務局へ示してはどうか。個別に協議してはととてもまとまらない。 |
| 菊池行革推進係主 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまで皆様よりいただいた意見については反映していると考えている。 |

| | |
|--|--|
| <p>事</p> <p>推行革推進係長</p> <p>西川会長</p> <p>佐々木職務代理</p> | <p>・今ほど後藤委員おっしゃったとおり、最終案というような形で提示し、最終チェックを入れていただく形で良いか。</p> <p>・事務局にはそのように対応願いたい。アンケートについては実施前に当委員会にお示しいただきたい。</p> <p>これ以外についてご意見・ご質問等ある方については、また事前に事務局へ質問として投げかけていただきたい。</p> <p>4) その他（次回、委員会開催日について） （協議の結果、1月10日10時からの開催とすることに仮決定）</p> <p>5 閉会</p> |
|--|--|